

「 第2次愛西市人口ビジョン・

愛西市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案） 」に対する

市民意見募集結果

令和2年1月7日（火）から1月30日（木）までの間、「 第2次愛西市人口ビジョン・愛西市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案） 」に対する市民の皆さんからの意見募集を行った結果、寄せられたご意見は以下のとおりでした。

なお、ご意見の内容（要旨）と市の回答は別紙のとおりです。

《提出件数》

2人 8件

《要旨別分類》

1. 基本事項

（5）PDCA サイクルによる戦略の推進 1件

2. 愛西市人口ビジョン

件

3. 愛西市まち・ひと・しごと創生総合戦略

施策1－3 愛西市の特徴を活かした農業振興 1件

施策2－2 移住・定住の促進 1件

施策2－3 市の居住価値を高める環境整備 3件

施策4－2 人口減少を踏まえたまちづくりの推進 1件

全体（その他）

1件

「 第２次愛西市人口ビジョン・
愛西市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案） 」
に対する意見の要旨と市の回答

《 １．基本事項の（５）PDCA サイクルによる戦略の推進》

No.	意 見	考 え 方
1	PDCA サイクルは欠陥品。機能している例は公共・民間部門を問わず皆無に等しい状況で、実効性が欠落した手法です。使うべきではありません。GPAC サイクルで正しい戦略を立て直して推進してください。 ※GPAC（ジーパック）：ゴールを決め、プランを立て、アクション（改善しながら実行）してクローズ。そしてまた新たに始める。	市総合戦略は、国や愛知県の総合戦略を勘案し、策定するとされております。その中で、PDCA サイクルに基づいた総合戦略の効果検証の確立については、国・愛知県ともに総合戦略の基礎としております。市総合戦略についても、実施した施策・事業の効果を検証し、改善を図る PDCA サイクルを継続して進めてまいります。

《 ３．愛西市まち・ひと・しごと創生総合戦略の施策１－３ 愛西市の特徴を活かした農業振興》

No.	意 見	考 え 方
1	使っていない農地を、売りたいくても売ることができず、ただ管理の手間と税金だけがかかり、大変だと感じている世帯は多く、細かい区分の畑をいくつか所有している場合は、貸し借りすら難しいのです。 農地を活用した地域の活性化をという計画であれば、畑等の一括借り買い上げを手助けするなど、1人農家や後継者のない農家の救済にも具体的にに取り組んでください。	施策１－３ 愛西市の特徴を活かした農業振興の中で、さまざまな具体的な事業を盛り込んでいます。一方で、農家の後継者不足は、市としても課題であると認識しており、農協をはじめとした関係機関と問題点の共有などを行い、解決策についても模索しております。

《 3. 愛西市まち・ひと・しごと創生総合戦略の施策 2-2 移住・定住の促進》

No.	意 見	考 え 方
1	高齢化による空き家問題も出てきているので、空き家を整備し、若い世代で農業参入を考えている方の育成の一貫として住宅を安く提供するなども可能では。	空き家対策として、市では空き家の流通が促進されるよう、関係団体と連携し、取り組んでいるところです。 一方で、いただいたご意見のように地域の特性に応じた空き家等の利活用の視点も必要だと考えております。 今後も愛西市空き家等対策計画に基づいて、取り組みをしてまいります。

《 3. 愛西市まち・ひと・しごと創生総合戦略の施策 2-3 市の居住価値を高める環境整備》

No.	意 見	考 え 方
1	「施策 2-3 市の居住価値を高める環境整備」の【方向性】について、本市は名古屋市近郊に位置しており、市内に J R 関西本線、名鉄津島線・尾西線の 7 つの駅を有し、短時間で名古屋駅へ到達できる優位性を持って・・・この認識がそもそも大間違い。愛西は名古屋から「遠い」。愛西は都会から遠くて不便な土地なんです。不動産市場では、名古屋からとても遠い愛西であることをまず理解してください。スタート地点がずれていてはまともな議論ができません。	市内にある駅から 15～30 分程度で名古屋駅に到達できる環境にあることから、本施策の方向性において表記しております。 いただいたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
2	具体的な事業「巡回バス運行」は空気を運んでいるだけです。スクールバスと統合できない路線は廃止やむなしでしょう。	巡回バス運行の事業につきましては、高齢者等の移動手段のひとつとして、生活利便性の向上等を図ることを目的に実施しております。
3	具体的な事業「水環境整備」の佐屋中部地区の水辺環境施設整備（遊歩道）も中止すべきです。	水環境整備の事業につきましては、水路の護岸老朽化の改修に合わせ、水路の機能及び景観を向上させることを目的に実施しております。

《3. 愛西市まち・ひと・しごと創生総合戦略の施策4-2 人口減少を踏まえたまちづくりの推進》

No.	意 見	考 え 方
1	高齢化による空き家問題も出てきているので、空き家を整備し、若い世代で農業参入を考えている方の育成の一貫として住宅を安く提供するなども可能では。	空き家対策として、市では空き家の流通が促進されるよう、関係団体と連携し、取り組んでいるところです。 一方で、いただいたご意見のように地域の特性に応じた空き家等の利活用の視点も必要だと考えています。 今後も愛西市空家等対策計画に基づいて、取り組みをしてまいります。

《全体（その他）について》

No.	意 見	考 え 方
1	合併した4町村のうち、佐屋・佐織地区を生活ゾーン、立田・八開地区を農業のゾーンと完全に分けてしまい農業ゾーンに生活する者の将来的な困難を加速していると感じられます。 生活が快適になるような整備や住宅開発は、主に佐屋・佐織地区で行われ、農地の保全という名目で立田・八開地区は土地を売買することも厳しいため、遊休地が山ほどあっても何もできません。 農業従事者の高齢化・後継者不足は市の議題にも上がって、農地の活用を考えてはくれているようですが、そもそも、この地区は農業のみと決めていることが、立田・八開地区の人口減少の大きな原因であることは、考えていないのでしょうか。 交通量の多い道路沿いや津島市と近いエリアなど、住宅開発で活性化が見込めるエリアの農業指定を見直して、若い世代が住みたいと思える地域にしていくことが、市全体の活性化につながると思います。 若い世代がのびのびとした子育て環境	立田・八開地区は良好な自然・農地の保全を基本に、生活道路や上下水道など、地域住民の日常生活を支える機能の強化・維持に努め、周辺環境と調和した良好な住環境の形成を図る地区として位置付けています。 いただいたご意見につきましては、都市計画制度に基づいたまちづくりのなかで、有効な土地利用を検討する上での参考とさせていただきます。

	に魅力を感じて転入してきてくれるような、新しい住宅エリア開発を、立田・八開地区でぜひ行ってもらいたいと強く望みます。	
--	--	--